



福岡は俺が守る！！



高速道路交通警察隊
平成20年採用 巡査長
豊津高等学校 卒業

警察官を目指したきっかけは？

小学生の頃、登校中に横断歩道を渡っていると車が猛スピードで私のほうに迫ってきました。その時、交差点に立っていた警察官が身を挺して私を守ってくれたのです。

この出来事から、警察官は私のヒーローとなり、私自身も誰かに安全安心を与えられるような警察官になりたいと思い、目指しました。

警察学校の生活はどうか？

警察学校に入る際、私自身「友達はあるか」「いきなり寮生活は大丈夫か」など色々な悩みや不安を抱えていました。

初めて親元を離れ、社会人として生活することに不安を感じている人もいますが、私は警察学校での生活で家族や周囲の方のありがたさを実感し、人間として一回り大きくなれた気がします。

現在の仕事について教えてください！

高速道路交通警察隊は、高速道路の交通事故抑止と安全で円滑な運行を図るため、主に交通指導取締り、交通事故処理、交通啓発活動を行っています。

高速道路は、車の速度が一般道と比べて非常に速いので、常に危険と隣り合わせの活動が多く、自分の身は自分で守らなければいけません。

交通事故が起こると、被害の程度も大きくなることが多く、大破した車の横で運転手が呆然と立ち尽くしている現場や、乗員がシートベルトをしていなかったことで車外に投げ出されて死亡してしまった悲惨な事故も目の当たりにします。

そのような悲惨な事故を未然に防ぐため、「誰かがするんじゃない、俺がやるんだ」という思いで活動しています。

警察官って休めるの？

警察官の仕事は「休みがない」「きつい」というイメージを持っている人もいますが、実際はそのようなことはありません。

事件や事故があれば、もちろん休みなく全力で働かなければいけません、その事件処理が終われば休みを取ることもできます。

現在では休みを取りやすい環境が整っているので、プライベートの予定も立てやすく、子供と過ごす時間も増えて、公私共に充実した生活を送ることができています。